

I 神の先行的恵み。主は、私たちの罪（争い、心の悪い欲望、うらやみ、ねたみ、憎しみ、悪い動機）のために十字架で死に、罪を償って下さいました。また、主を信じる私たちの心に御聖霊が宿られ、私たちの心にある憎しみ、恨み、ねたみ、悪い欲望をきよめ、新しい心（愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制、聖なる知恵、判断力、識別力）を实らせ続けて下さいます（ガラ5：22, 23）。

II 私たちの間にそして世界中には、常に「戦いや争い」：1があります。私たち罪人である人間の歴史を見ると、世界のどこにも争いや戦争がない時代は、ほとんどないことがわかります。それは、国と国、家庭、個人の生活にも言えることです。クリスチャンの間でも、日々神の愛を求めなければ、争いが起こります。コロナ禍の中でますます。ですから、ヤコブは、この御言葉をクリスチャンに語っています。

1. その原因とは→「あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るではありませんか」：1。心に持ち続けている敵意、悪い欲望は、やがて見える「戦いや争い」となって現れます。真の原因は、外にあるのではなく、何と私たちのからだ、心の中にあるのです。「戦う」は、これらの欲望が絶えず活発に活動していることを示しています。しかも、それは、私たちのからだのあらゆる部分を活動範囲としています。神から離れている時の私たち人間の性質が向かう方向は、「欲望を満たそうとする快楽」です。私たちが、自分の使うお金、時間、力、興味の対象を考えてみるとわかります。私たちにとって、今、第一にしていることは、私たちを心から愛しておられる神ご自身を喜び、御霊に頼って歩みなさい。この罪の世にいる限り、悪い欲望との戦いはなくなりませんが、良い知らせがあります→「御霊によって歩みなさい（祈りと御言葉により神と深く交わり神ご自身を喜び、御霊に頼って歩みなさい）。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません」（ガラテヤ5：16）。

2. 「あなたがたは、欲しがっても自分のものにならないと、人殺しをします。熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします」：2。「欲しても（十戒の最後の「むさぼってはならない」と同じ原語ローマ7：7、13：9）自分のものにならないと、人殺しをします」：2。その欲しいもの（お金、物、地位、名誉、異性等）を何としても手に入れようとします。日々起こる事件は、このことを証明しています。このどす黒く恐ろしい欲望、むさぼりの心が、すべて（私たちにも）の人の心にあります。それこれという罪以上に、自分の心そのもののむさぼり、欲する欲望が罪であるという深い自覚が、真の悔い改めの心です。また「熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします」：2。国同士の戦争も私たちの争いも根は同じです。それはすべての人の心にある「神に背いている原罪（アダムとエバから引き継いでいる罪）」、欲張り、欲望、隣人のものを欲する欲望（出エジプト記の十戒の10番目のまとめの戒め＝「隣人のものを欲してはならない」出エジプト20：17）です。国と国の平和条約、人と人の契約が結ばれても、悪い欲望が支配している限り、その約束は破られて戦争になってしまうのです。ですから、すべての人が、自分の悪い欲望の罪を悔い改め、主を信じ、この欲望という罪が聖められない限り、真の平和、平安は、生まれません。敵を愛し、「父よ。彼らをお赦しください」と祈られ、敵対する人（私たちを含む）のために十字架にかかられたイエス様こそ平和をつくられる主です！私達も主から愛を受け、愛しにくい人を愛する事ができますように。

Ⅲ「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです」：2。神は、恵もうと待っておられます。「主は、あなたがたに恵みを与えようと待ち、それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる」イザ30：18。私たちは、与え主の神に求めず、人に求め過ぎたり、期待し過ぎると裏切られ、また、相手に負担をかけ、相手を縛ることになり、平和な関係を崩します。この世に求めても、真の満足は与えてくれません。真の満たしは神からのみ来ます。私たちが自分の欲望に支配され、欲しいものを追い求めるなら、真の平和も満足も決して得られません。その欲望は底なしで、次から次へ悪の快樂を求めさせ、墮落させて行くのです。この欲望を自分の主人とするか、素晴らしい神を主人とするか二つに一つしかありません。その結果、祝福の差は、天国と地獄の差があります。「求めても得られない」(：3)ことが実際に多くあります。それは、「自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです」：3。神は、与えて下さるものが、私たちのために真に益とならない場合は、愛するが故に与えられません。振り返ってみる時、「あの時、神に求めたまま与えられないで良かった。そうでなければ、他の恵みや待つ訓練も味わうことができなかつただろう」と思えることが多くあります。「悪い動機で願う」とは、求めているそのものが悪いものでなくても、隠れている動機が不純の場合です。偉大な神は、私たちの心の動機も見抜かれます。「何事でも神のみこころにかなう願い(悪い動機でない願い)をするなら、神はその願いを聞いてくださる」Iヨハ5：14。※但し、この地上では、なぜ、大切な人の命を助けて下さらなかったのかという事が起きます。地上で神の答えが分からない事があります。「隠されていることは、私たちの神、主のものである」(申命記29：29)。すべて神に委ねましょう。真の信仰とは、すべてを理解して神を信頼する事ではなく、分からない事があっても神を信頼する事です。地上で理解できない事は、天国で神にお尋ねしましょう。

Ⅳ 応答と恵み。すべての戦い、争い、罪の根本原因は、外側ではなく、自分の心の中にある悪い欲望であることを認める人は幸いです。神の前に自分の罪を認めて告白しましょう。「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます」Iヨハネ1：9。そうする時、①神は、主の十字架の血(私たちのすべての罪、悪い欲望の罪を償って下さった血)により、私たちのすべての罪を赦し、きよめて下さいます。「御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます」Iヨハネ1：7。②主を信じる私たちの心の中に内住して下さる聖霊なる神が、どうしようもない私たちの罪、悪い欲望の心を内側から聖め続けて下さいます。ローマ8：2～11。

私たちにも、すべきことがあります。戦いの一日が始まる朝、時間を取り、御言葉を味わい神と交わり、神の霊的な武具を身に着けます。生活の中で、その時その時、御聖霊に頼り、悪魔と自分の内側の欲望の誘惑の声に「ノー」と言い、主の喜ばれる事を選び取って行くのです。一人では弱いので、互いに祈り合いましょう。「互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい」ヤコブ5：16。

本日のみことばで「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです」：2と私たちを励ましておられます。神は、悪いもの、本当に必要ではないものは与えられません。しかし、本当に必要なものを、純粋な動機(神の栄光の為に用いる為に)で神に求めるなら、私達に神の時に、神の方法で与えて下さいます。「天におられるあなたがたの父は、ご自分に求める者たちに、良いものを与えてくださらないことがあるでしょうか」マタイ7：11。

祈り：コロナ禍の中で、感染から守って下さい。自由意思によるワクチン接種が進み、用いられますように。コロナ禍の中で、必要を満たして下さい。自殺者を止め、救って下さい。人々を救って下さい。肉体と心の病の人々、疲れている人々を癒して下さい。